

www.livasta-labels.com

Livasta
食品用ラベル素材

LINTEC LABELSTOCKS FOR
FOOD RELATED

※カタログに記載の内容は、予告なく変更する場合があります。

Livasta 食品対応
ラベル素材 webサイト



お問い合わせは、印刷・情報材事業部門 〒112-0002 東京都文京区小石川1-1-1 文京ガーデン ゲートタワー8F
TEL.03-3868-7734 FAX.03-3868-7740

www.livasta-labels.com



本社 〒173-0001 東京都板橋区本町23-23

札幌支店	〒065-0017 北海道札幌市東区北17条東20-4-16	TEL.(011)785-1141	大阪支店	〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1-4-24 大阪四ツ橋新町ビル5F	TEL.(06)6539-3888
仙台支店	〒982-0003 宮城県仙台市太白区郡山4-2-20	TEL.(022)247-7241	広島支店	〒730-0029 広島県広島市中区三川町2-6 くれしん広島ビル4F	TEL.(082)569-8835
北陸支店	〒930-0018 富山県富山市千歳町2-10-1	TEL.(076)432-9331	四国支店	〒799-0404 愛媛県四国中央市三島宮川2-5-10 ニューロイヤル1F	TEL.(0896)23-8844
静岡支店	〒420-0823 静岡県静岡市葵区春日2-11-17	TEL.(054)253-5176	福岡支店	〒810-0074 福岡県福岡市中央区大手門2-2-3	TEL.(092)713-7095
名古屋支店	〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-14-16	TEL.(052)951-9191			

DE2209DL



食品ラベルは、変わり続ける。

食品衛生法の改正や持続可能な社会へのシフトにより、

食品ラベルにも大きな変化が訪れています。

低温適性や加熱適性、耐水性など、従来の性能を維持しながら厳格な基準を満たし、

環境への配慮も求められるようになりました。

私たちリンテックは、ラベル素材のリーディングカンパニーとして

日々変わり続ける食品ラベルの課題解決に向けて

独自の技術を進化させることで、食の安心と明解な情報をお届けします。

Safety and Clearly

変わり続ける食の未来に、応え続けるラベル素材を。



食品用ラベル素材 INDEX



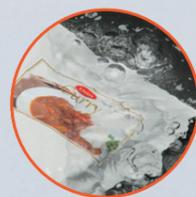
食品安全性
▶ P.04



低温適性
▶ P.05



耐水性
▶ P.06



加熱適性
▶ P.07



剝離適性
▶ P.08

Safety and Clearly
LINTEC Labelstocks for Food related

1 食品安全性

基準に適合した安全なラベルを。

食品には品名や成分表示など、さまざまなラベルが貼付されます。通常は包装やパッケージに貼られますが、食品に貼ったり、触れたりする場合は特に安全性が求められます。当社は「食品衛生法」や「FDA」に準拠した粘着剤を使用したラベル素材をラインアップ。目的や用途に応じて安全性の高いラベル素材をご選択いただけます。



2 低温適性

粘着性能が低下しない専用ラベルを。

低温環境での食品保存・流通時に用いるラベルは、粘着性能が低下し、保存・流通過程に剥がれてしまうこともあるので注意が必要です。大切な情報が脱落しないよう、ラベルを貼る環境、商品を保管する環境に考慮し、状況に応じたラベル素材を選択しましょう。当社では低温環境下に対応したラベル素材を各種ご用意しています。



食品衛生法とは

食品の安全性確保を目的として「食品衛生法」が制定されています。2020年6月に食品衛生法の一部が改正され、食品と直接接触する合成樹脂(プラスチック)の器具・容器包装に対してポジティブリスト(PL)制度が導入されました。PL制度は安全性が評価された物質のみをこれらの用途で使用可能とする制度です。リンテックは食品と直接接触しない用途にも、安全性に考慮したラベル素材が必要と考え、PL制度に対応したラベル素材をご提案しています。



PL制度経過措置について

PL制度は、制度導入後5年間の経過措置期間(2020年6月1日~2025年5月31日)が設けられています。PL制度施行日より前にご使用されていたラベル素材は、経過措置期間中はPL制度適合となります。



詳しくは厚生労働省
Webサイトを
御覧ください。



FDAとは

「FDA」はアメリカ食品医薬品局(Food and Drug Administration)の略称で、米国の連邦規則集(CFR: Code of Federal Regulation)の食品および医薬品の規定に基づいて食の安全責務や医薬品規制とする政府機関です。リンテックは、食品包装に使用する接着剤に関する規格であるFDA 21 C.F.R. Section 175.105 および、食品と接触する粘着剤に関する規格である175.125に準拠した粘着剤であるラベル素材をラインアップしています。

詳しくはFDA(米国)
Webサイトを
御覧ください。



低温環境での貼付

一般的にラベル素材は低温環境下になると、粘着剤が硬くなり凹凸への追従性が低下するため、本来の粘着性能を発揮できなくなります。低温環境下で保存・貼付する場合は、低温適性のある粘着剤を使用したラベル素材が必要です。



低温環境における粘着剤の貼付・保管温度領域

食品を保管する環境は常温から冷凍まで幅広く、「貼付する温度」と「保管する温度」で求められる性能も異なります。リンテックは貼付温度領域と保管温度領域を組み合わせ最適な粘着剤を取りそろえています。



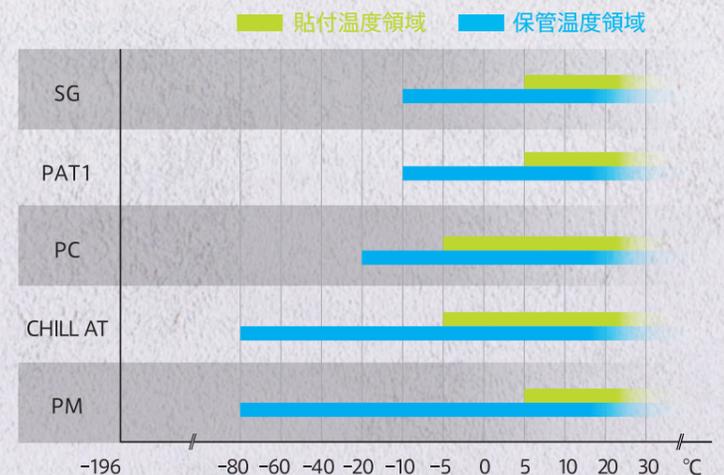
貼付・保管温度領域について

貼付温度領域: ラベルの貼付可能な温度領域
保管温度領域: ラベルの粘着力が保持できる温度領域

リンテックの温度定義について

常温(30~15°C)、冷蔵(15~5°C)、チルド(5~-5°C)、冷凍(-5~-80°C)と定めています。

詳しくは弊社
Webサイトを
御覧ください。



3 耐水性

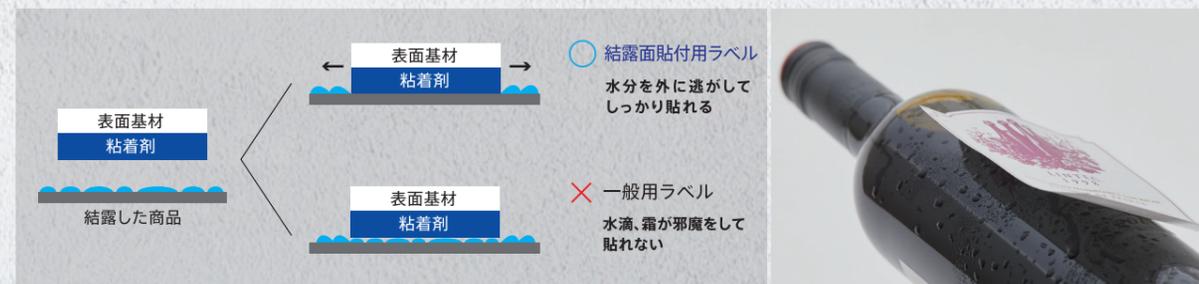
結露面にも貼れるラベルを。

低温環境下で食品を保存・流通する際に、容器や包装・パッケージの表面に水分や霜が付着すると、一般的なラベルでは貼ることができず、紙基材のラベルだと破れてしまいます。当社では結露面にもそのまま貼れるラベル素材をラインアップしており、剥がれたり破れることなく安心してご使用いただけます。



結露面への貼付

被着体が結露(一部凍結)しているところに一般的なラベル素材を貼ろうとしても、表面に水分があり被着体にしっかり貼ることができません。しかし、結露面貼付性に優れたラベル素材は、貼付時に被着体表面の水分を外に逃がしながら貼れるためしっかりと貼付することができます。



ラベルの選び方

水分が付着している結露面と、霜が付着している凍結面では選択する粘着剤も異なるため、被着体の表面状態を確認しラベル素材を選択する必要があります。

凍結面とは

被着体表面に霜がついている状態です。冷凍食品など冷凍環境から常温環境に取り出した直後に起こりやすい現象です。



結露面とは

被着体表面に水滴がついている状態です。アイスコーヒーなどのカップ表面に起きやすい現象です。



耐水紙について

低温から常温への温度変化により商品の表面に結露が生じた場合、紙基材のラベルだと水滴が付着して破れやすいため、一般的にはフィルム基材のラベルが使用されます。リントックは濡れても破れにくい耐水紙を使用したラベル素材をラインアップしており、安心してご使用いただけます。



関連製品は弊社
Webサイトを
御覧ください。



4 加熱適性

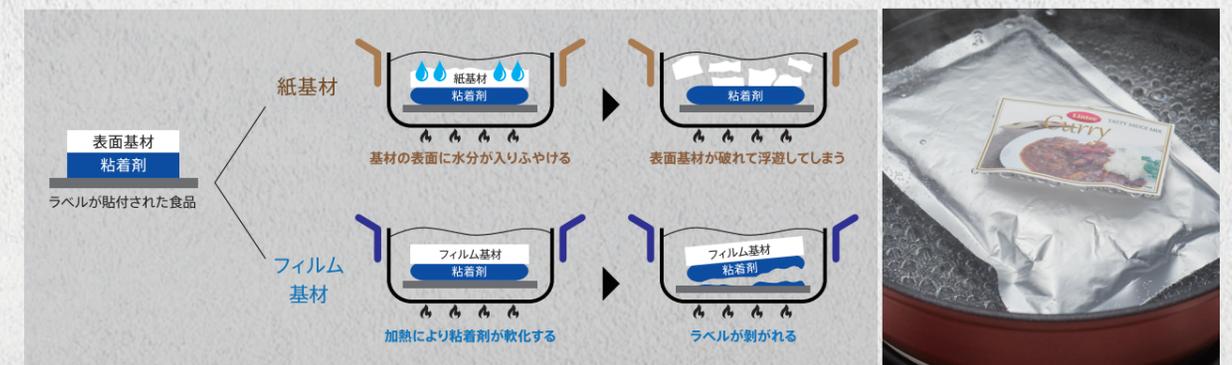
加熱方法に合わせたラベルを。

近年、お弁当や総菜、レトルト食品など、電子レンジや湯煎で加熱する食品が増えています。しかし電子レンジでの加熱中に、パッケージに貼られたラベル表面が黒く変色して表示内容が見えなくなったり、湯煎中に剥がれてしまうケースも。ラベルの選定には加熱方法を想定し、熱に対する耐性を考慮することが大切です。



湯煎が必要な商品への貼付

一般的な粘着剤は高温になると柔らかくなり、商品に貼られているラベルの端部より水が粘着剤と被着体の隙間に入ること剥がれやすくなります。また、紙基材のラベルだと破けてしまうこともあるため、高温で湯煎調理される場合は、湯煎適性のあるラベル素材を選ぶ必要があります。



電子レンジ加熱が必要な商品への貼付

一般的なダイレクトサマーラベル素材は、電子レンジで温めると黒く発色してしまい表示内容が読めなくなってしまうことがあるため、電子レンジ適性のあるラベル素材をお選びください。



関連製品は弊社
Webサイトを
御覧ください。



5 剥離適性

きれいに剥がせる環境配慮ラベルを。

「容器リサイクル法」や「プラスチック資源循環促進法」などの法規制が進み、使用後の包装資材・容器とラベルの分別が求められています。当社では容器のリユース・リサイクル促進の観点から、使用後はきれいに剥がせたり、容器の洗浄時に温水などで剥がれるラベル素材をラインアップ。用途に合わせてお選びいただけます。



再剥離性のあるラベル素材

「再剥離性」とはラベルを剥がす際にのり残りが少なくきれいに剥がせる機能を表します。リンテックの再剥離ラベル素材はさまざまな被着体の形状・材質に対応し、用途に合わせて適切な粘着力を提案できるよう、強粘再剥離、弱粘再剥離、微粘着と幅広くラインアップしています。



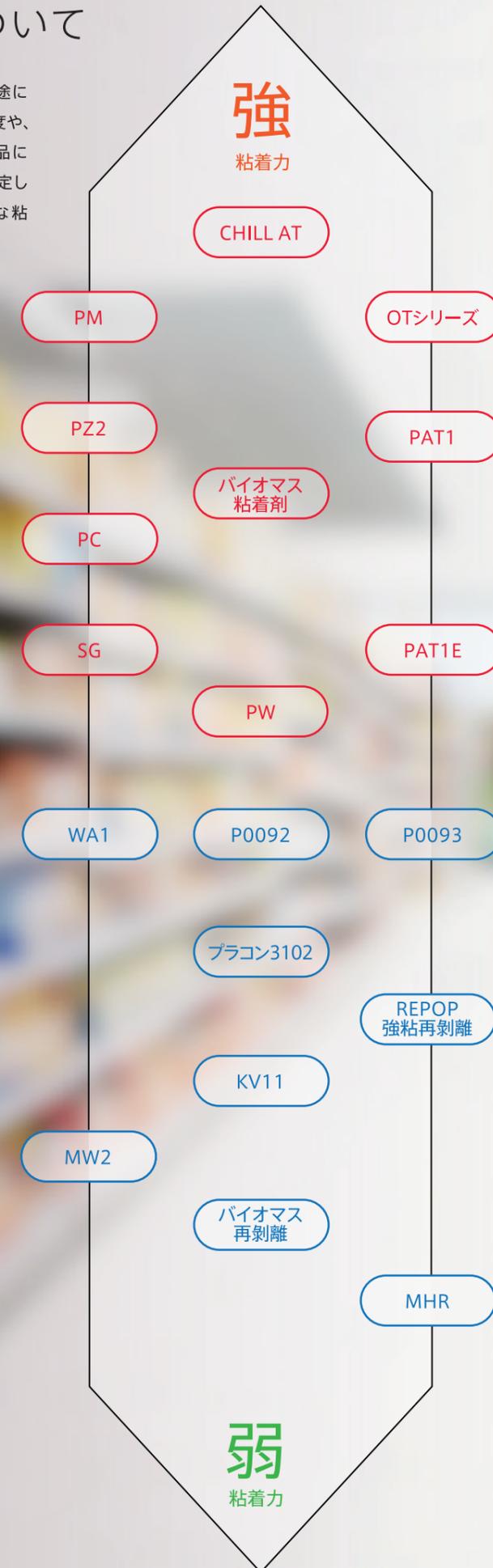
容器の洗浄工程で剥がれやすいラベル素材

使用済みの容器をリユース・リサイクルする循環型社会の実現が求められています。リンテックは使用中の商品にしっかりと貼られ、容器回収後の洗浄工程では簡単に剥がれるラベル素材を各種ラインアップしています。



食品用ラベル素材 粘着剤の強度について

食品用ラベルに使用される粘着剤には、用途によりさまざまな種類があります。粘着力の強度や、商品に貼付したままの永久接着タイプ、商品に貼付後、一定期間経過後に剥がすことを想定した再剥離タイプと使用用途によって適切な粘着剤を選択することが重要です。



各粘着剤の特性

永久接着タイプ

一度製品に貼付したら剥がさないことを前提に使用する粘着剤です。

再剥離タイプ

一度製品に貼付した後剥がすことを前提に使用する粘着剤です。

*被着体の形状や使用環境・条件によっては、接着性や再剥離性に影響を及ぼす場合がありますので、事前のテストをお勧めします。

